

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

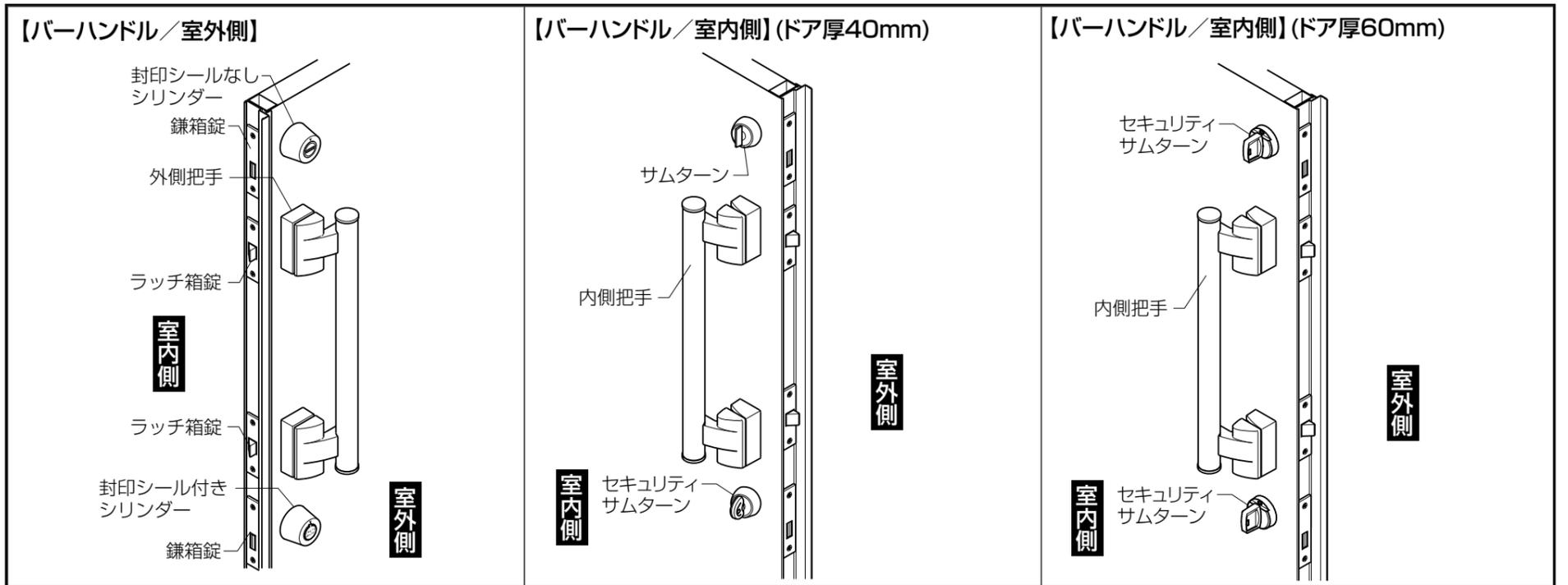
■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

■把手セット

名称	入数	詳細
外側把手	1 個	—
内側把手	1 個	—
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×30／4本
箱錠セット	1セット	鎌箱錠／2個、ラッチ箱錠／2個、皿小ねじM4×16／8本、皿小ねじM4×12／4本
シリンダーセット(別途手配)	1セット	シリンダー／2個、オーナーキー／1本、子鍵／4本、工事用キー(コンストラクションキー)／3本
サムターン・セキュリティサムターンセット(ドア厚40mm)	1セット	サムターン／1個、セキュリティサムターン／1個
セキュリティサムターンセット(ドア厚60mm)	1セット	セキュリティサムターン／2個、サムターンキー／4本、サムターン座／2個
取付け説明書	1 枚	—
お施主さま用取扱い説明書	1 冊	袋入り

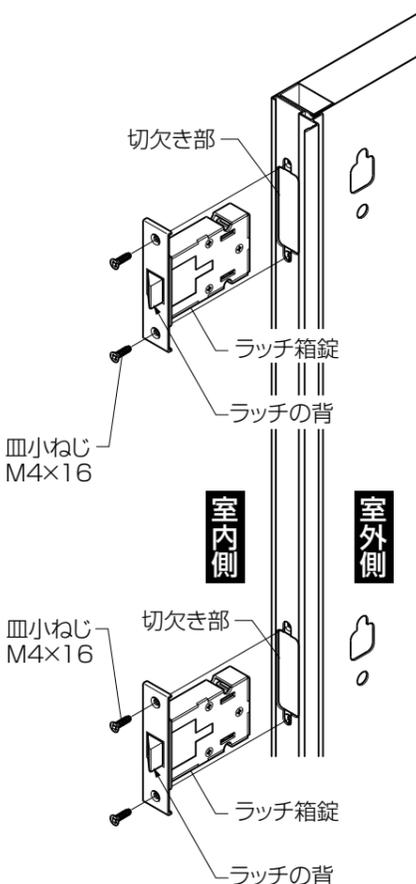
■取付け完成図



■取付け順序

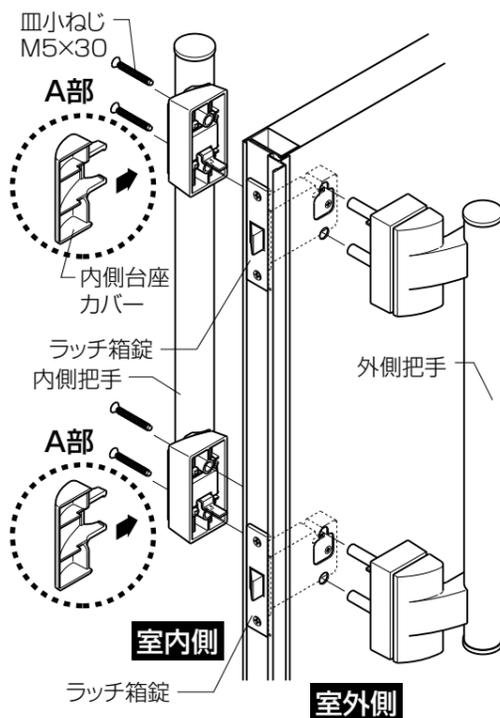
1 ラッチ箱錠の取付け

●ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじでラッチ箱錠を取付けます。

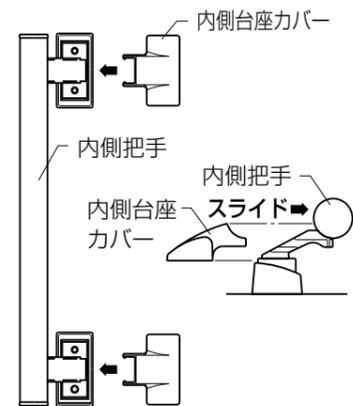


2 把手の取付け

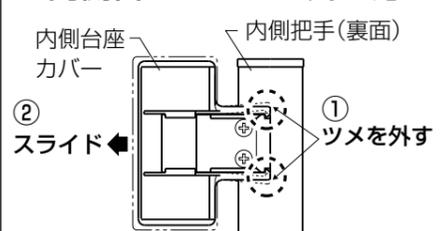
①外側把手を室外側から差込みます。
②内側把手を皿小ねじで固定します。
③内側台座カバーを内側把手に取付けます。
※把手が取付けにくい場合、ラッチ箱錠の取付けねじをゆるめて取付けます。



■内側台座カバーの取付け方 (A部詳細図)



■内側台座カバーの外し方



3 箱錠の取付け

- ①上下鎌箱錠をドア本体の切欠きに合わせて差込み、皿小ねじM4×16で取付けます。
- ②上下鎌箱錠の固定ピン2箇所をケース上面より引っ張り、出しておきます。
※固定ピンは鎌箱錠から抜けません。

4 上部シリンダー、サムターンの取付け

【ドア厚40mm・60mm共通】

- ①封印シールなしシリンダーのV刻印を上に向けます。
- ②封印シールなしシリンダーの凸部(下図「シリンダー側面図」参照)固定ピン差し込み口を上鎌箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピンで固定します。

【ドア厚40mmの場合】

- ③サムターンのM I W A刻印を上に向けます。
- ④サムターンの凸部(下図「サムターン側面図」参照)固定ピン差し込み口を上鎌箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピンで固定します。

※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。

- ⑤上鎌箱錠に皿小ねじM4×12でフロントを取付けます。

【ドア厚60mmの場合】

- ③セキュリティサムターンのボタンを下に向けます。
- ④セキュリティサムターンの凸部(下図「セキュリティサムターン側面図」参照)固定ピン差し込み口を上鎌箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピンで固定します。

- ⑤サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。

- ⑥ボタンを上を押しながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)

※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。

- ⑦上鎌箱錠に皿小ねじM4×12でフロントを取付けます。

【ドア厚40mm・60mm共通】

※固定ピンで、シリンダー、サムターンを固定しにくい場合、鎌箱錠の取付けねじをゆるめて、固定します。

※固定ピンは頭がケース上面と同じになるまで差込んでください。

※固定ピンをスムーズに挿入できない場合は、ハンマー等で軽くたたき込んでください。その際、サッシ等を傷つけないように注意してください。

5 下部シリンダー、サムターンの取付け

【ドア厚40mm・60mm共通】

- ①封印シール付シリンダーのV刻印を上に向けます。
- ②封印シール付シリンダーの凸部(下図「シリンダー側面図」参照)固定ピン差し込み口を下鎌箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピンで固定します。

【ドア厚40mmの場合】

- ③セキュリティサムターンのM I W A刻印を上に向けます。
- ④セキュリティサムターンの凸部(下図「サムターン側面図」参照)固定ピン差し込み口を下鎌箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピンで固定します。

※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。

- ⑤下鎌箱錠に皿小ねじM4×12でフロントを取付けます。

【ドア厚60mmの場合】

- ③セキュリティサムターンのボタンを下に向けます。
- ④セキュリティサムターンの凸部(下図「セキュリティサムターン側面図」参照)固定ピン差し込み口を下鎌箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピンで固定します。

- ⑤サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。

- ⑥ボタンを上を押しながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)

※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。

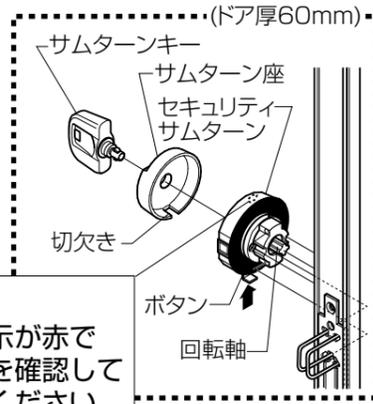
- ⑦下鎌箱錠に皿小ねじM4×12でフロントを取付けます。

【ドア厚40mm・60mm共通】

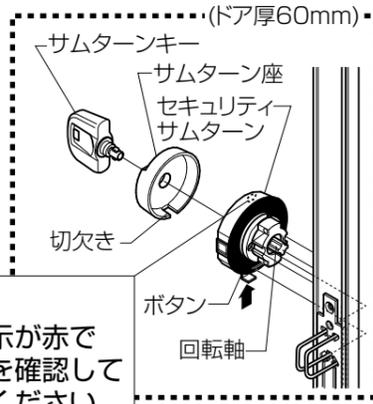
※固定ピンで、シリンダー、サムターンを固定しにくい場合、鎌箱錠の取付けねじをゆるめて、固定します。

※固定ピンは頭がケース上面と同じになるまで差込んでください。

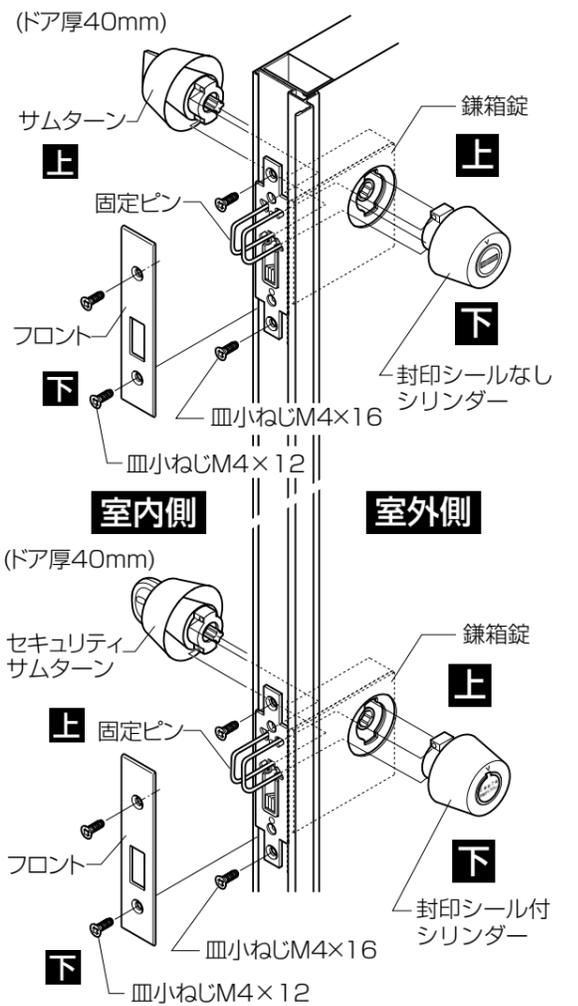
※固定ピンをスムーズに挿入できない場合は、ハンマー等で軽くたたき込んでください。その際、サッシ等を傷つけないように注意してください。



施錠表示
※施錠表示が赤であることを確認して取付けてください。(緑の場合は回転軸を回して赤にします)



施錠表示
※施錠表示が赤であることを確認して取付けてください。(緑の場合は回転軸を回して赤にします)



サムターンツマミの操作
※サムターンツマミは縦にして取付けてください。

縦(解錠) 横(施錠)

シリンダー側面図 **サムターン側面図 (ドア厚40mm)** **セキュリティサムターン側面図 (ドア厚60mm)**

■コンストラクション装置について

- 封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
- 封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。

